

令和４年度第３回大垣市障がい者の暮らしを支える協議会議事要旨

令和５年２月１６日（木）

１３：３０～１５：００

大垣市役所８階 大会議室

出席者：２１名 欠席者：６名

１．健康福祉部長あいさつ

２．令和４年度各部会の開催報告について

（事務局、各部会長より説明）

- ・ 令和４年度各部会の開催日、テーマ、目的、実施内容、成果や効果、課題や今後の取り組みについて、事務局および各部会長より結果報告。

【質疑・意見】

- ・ 障がいのある子の親なきあとのお金の問題を題材とした研修に参加したが、子どものためにお金をどのように残すかよりも、今後の子どもの生活が困らないようにしていくにはどうしたらよいのだろうと考えさせられる、有意義な研修であった。（権利擁護部会）
- ・ 事前にアンケートをとりその内容を反映した研修で、より具体的な悩みの部分の話をきくことができ、大変良い研修であった。（子ども支援部会）
- ・ 障がいのある子をもつ母親とどのように向き合うかの参考になったのではないかと思う。（子ども支援部会）
- ・ ひきこもりの方と今まであまり関わる機会がなかったので、部会に参加する前はどのように接したらよいか悩んだが、こうやって悩み考えることは、身体障がい者と接する時に芽生える気持ちと一緒にのではないかという気付きがあった。（相談支援部会）

3. 大垣市障がい者福祉に関する調査結果について

(事務局より説明)

- ・ 市民アンケート調査の概要、主な調査結果について
- ・ 障がい者関係団体および障がい者関係事業所を対象としたヒアリング調査の概要、主な調査結果について
- ・ 調査結果からみえる課題について

【質疑・意見】

- ・ 障害福祉サービスを利用する際に、サービスの内容や手続き方法がわからないので聞きたいが、どこに相談していいのかがわからないことがある。こういった人に対してはどのように対応したらよいか。
→ 相談支援事業所は、サービスの利用に限らず、障がいに関すること全般を相談していただくことができる。そのほか、民生委員や市役所でも相談対応している。
- ・ 障がいのある方の地域での見守り活動はどの程度浸透しているのか。
→ 障がいのある方だけでなく、例えば高齢者のひきこもりなど、同一世代の中で複数の課題を抱えているケースもあり、行政内部で連携して困っている方のリストアップに努め、支援につながるよう取り組んでいる。
- ・ 障害福祉サービスの手続き方法やその他困り事があれば、民生委員だけでなく、身体・知的相談員としても何か対応ができればと思っている。
- ・ 難病患者は、社会にでることが難しい方もおり、ひきこもってしまうケースがある。患者会や難病連が相談先になっているが、各保健所でも対応できるとよいと思う。また、地域の方に気にかけてもらうことが一番ありがたいので、難病の方を見かけたら声かけしていただけるとよいと思う。
- ・ 人材不足には大変苦慮している。行政と連携し、福祉の仕事をアピール、PR活動を後押しするような何かができたらよいと思うので、ぜひ検討願いたい。
→ アンケート調査結果によれば、現在、ボランティア活動に関心があるものの、実際に活動している人は少ないとのこと。福祉の仕事に興味を持ってもらうためにボランティア活動へ導いていくことも、人材不足の解消につながっていくのではないかと。